

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【社会（地理的分野）】

1 採択教科用図書

- 日本文教出版

2 採択理由

（1）日本文教出版は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、その手がかりとなる「見方・考え方」やコラム「地理＋α」を基に追究し、最後に、「確認」「表現」コーナーに取り組むことで、学習内容の理解を確かめる構成・配列の工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、各小単元に「議論してみよう」があり、小単元ごとに獲得した知識を生かして、議論できる問いを設定し、生徒が主体的に学ぶことができるような工夫が見られる。
- 生徒にとっての分かりやすさについては、章や節ごとに単元を貫く問いについて独立したページを設けて、学習の見通しをもたせたり、ポートフォリオを活用することで思考の流れを整理したりする工夫が見られる。

（2）日本文教出版は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 本地区における地域の特色や生徒の実態を考慮すると、中国・四国地方を通して人口問題を理解させるとともに、「地域の在り方」では宮崎市を例に、地域の課題とその要因を考察し、解決策を構想して表現する力を育成する工夫が見られる。
- 自分の住む地域と関連付けて考えることができるよう、多様な自然災害を紹介し、学習内容を深めるコーナーで、南海トラフやハザードマップの使い方などを取り上げる工夫が見られる。
- 「持続可能な地域をめざして」という探究的な学習のページを設け、防災の視点から町づくりを考えながら、郷土に関する総合的な学習の時間につなげていく工夫が見られる。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、日本文教出版の教科用図書が最適であるとして採択した。